

## 第 10 号（橘女子大学研究紀要）

昭和 58 年（1983 年）7 月発行

1. 多田 英次  
トマス・モアと『ユートピア』
2. 南 順三  
ヨオゼフ追憶 その九
3. 吉池 浩  
大和物語の問題点  
-「散りぬれば」の歌などを中心として-
4. 井口 壽  
鬼貫の「悟り」についての試論
5. 萬田 務  
宮沢賢治「グスコーブドリの伝記」成立考  
-ひとつの仮説の試み-
6. 脇田 晴子  
土一揆の組織性と私徳政  
-續・都市と農村の対立-
7. 田端 泰子  
中世における女性の地位と役割  
-婚姻形態を通じて-
8. 藪田 貫  
得物・鳴物・打物  
-百姓一揆研究ノート-
9. 杉村 和子  
フロラ・トリスタンとパリの労働者たち  
-労働者の新聞『ルシュ・ポピュレール』と『アトリエ』の場合を中心に-
10. 上田 博  
国木田独歩「源おぢ」の一面
11. 寺島 浩子  
「京言葉」記述の試み  
-記述の方法、及び人称代名詞に関する記述-
12. 安田 富貴子  
紀州和歌山宇治の産・宇治加賀掾の世界  
-三浦家文書を中心に-
13. 橋本 友子  
英語の文頭の削除について

14. 杉山 泰  
いまなぜ外国語か  
-英語を通して日本語を眺める-
15. 志賀 亮一  
『秘密の部屋』の秘密  
-その構造と意味するもの-
16. 碓井 敏正  
デカルトの懐疑における欺く神と永遠真理創造説
17. 鎌田 明子  
Our Townにおける演劇空間の特性
18. 松下 桂子  
大学スポーツ考
19. 平田 康  
Death of a SalesmanにおけるRequiemの場面の持つ意味について
20. 佐藤 令子  
コメニウスにおける生涯教育の構想Ⅱ  
-誕生前教育と新生児教育-
21. 長廣 敏雄  
敦煌石窟と敦煌学